現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和７年７月

（１）子牛セリ市前生産者研修で儲かる子牛づくりを学ぶ

７月２，３日に沖永良部家畜市場で子牛セリ市生産者研修会を開催。「儲かる子牛づくり講座」として，初日は「分娩２か月前からの飼養管理」，２日目は「分娩時の飼養管理」について講演を行いました。生産者からは，初めて聞く内容もあり大変勉強になったとの感想がありました。参加者は 20 名と少数でしたが，資料は生産者グループラインで共有しました。なお，７月の沖永良部市場の子牛価格が大島地区トップとなり，喜ばしい結果となりました。

（２）与論町県畜産共進会予選会が開催され大いに盛り上がる

７月 15 日に与論家畜市場で県畜産共進会予選会が開催され，農業普及課も審査員の一人として審査しました。出品された牛は，発育良好で体積が豊かな牛が揃っており，与論町の和牛改良の高さがうかがえました。また，予選会終了後は，牧草ロール転がしのイベントも行われ，生産者や審査員，町，農協等を含む関係者全員で参加し，大いに盛り上がりました。本日，１席となった牛が，今後大島地区予選会を突破し，県畜産共進会へ出品できるよう支援していきます。

（３）令和６年度沖永良部花き専門農協キク部会反省会が開催される

７月 16 日，沖永良部花き専門農協にて出荷反省会が開催されました。春の彼岸出し以降，厳しい相場が続いており，国内７市場の担当者を交え「これからの花産地の歩み方」をテーマに意見交換しました。市場側から彼岸出し以降の安値の原因や，厳しい販売環境下でも踏ん張っている産地があることなどが紹介されました。また，「沖永良部の優品はばらつきが多く相対取引には不安がある，ここの解決が今後必要」との厳しい意見も頂きました。普及課は関係機関と連携し，高品質切り花の産地化を目指します。

（４）低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒を実施

７月 14 日～16 日，与論町にて生産者および関係機関の協力のもと，低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒が２か所で実施されました。トルコギキョウの栽培では立枯病対策が重要な課題であり，本実証により新たな土壌消毒法の選択肢を増やすことを目的としています。今後は８月下旬と９月下旬に定植し，11 月に１番花および１月に２番花における立枯病の発生状況を調査する予定です。農業普及課は関係機関と連携し，立枯病対策の確立を目指します。

（５）農業経営継承・法人化個別相談会及び経営発展研修会を開催

７月３日～４日にかけ与論町で「農業経営継承・法人化個別相談会及び経営発展研修会」を開催しました。農業経営スペシャリスト（税理士）を迎え，花き農家１戸，畜産農家１戸に対し，法人化に係る個別相談を実施しました。また，研修会として，認定農業者約 20 名に対し，経営発展に伴う法人化のメリット（信用や人材確保）やそれに伴う税務対策，雇用にかかる社会保険加入義務など留意点の理解を深めることができました。今後も管内農家への経営発展に向けた支援を進めていきます。